※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学②	単位数	２単位	年次	全年次 （化学基礎履修済後）
使用教科書	「化学」（数研出版）						
副教材等	「新課程版　セミナー化学」　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学とは、物質に関する基本的な概念や法則を理解し、さらに観察や実験、文献調査などの探究活動を通じて、創造的な能力を養うことをめざす学問です。高校では主に物質に焦点をあて、物質の成り立ちからその変化までを理解していきましょう。

２　学習の到達目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）　化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

（2）　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

（3）　化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記 録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを 行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究して いる。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	無機物質	非金属元素 典型元素 遷移元素	a：無機物質の性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。 b：無機物質の性質や反応などを、元素の周期表と関連付けて思考、判断する。 c：無機物質の性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。物質の性質に関する実験に主体的に取り組んでいる。	授業プリント 観察・実験 単元テスト	観察・実験 探究活動 単元テスト	授業プリント 探究活動

※令和４年度以降入学生用

後半	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物	a: 無機物質の性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。図や表のデータから物質の性質を分析できる能力を身につけている。 b: 機化合物の性質や反応などを、その構造に特徴付けられることを見出し、思考、判断する。有機化合物について観察・実験を行い、規則性を見出したり、さまざまな事象が生じる要因や仕組みを科学的に考察できる。 c：有機化合物の性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。物質の性質に関する実験に主体的に取り組んでいる。	授業プリント 観察・実験 単元テスト	観察・実験 探究活動 単元テスト	授業プリント 探究活動
	高分子化合物	高分子化合物の性質 天然高分子化合物 合成高分子化合物	a:高分子化合物の性質と特徴を理解し、分類することができる。 b:高分子の反応について、反応式を理解し、量的関係が考察できる。性質に基づいた分類や物質を推定することができる。 c:身の回りの物質について高分子化合物の利用例について興味・関心をもつ。高分子化合物の性質についての実験に主体的に取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度